



次  
第一編 新しい政治と佐久の動き

第一章 終戦直後の佐久市域

第一節 占領と敗戦処理……………五

一 佐久市域の八月十五日……………五

学校日誌にみる八月十五日／個

人日記にみる八月十五日／疎開

著名人の八月十五日

二 占領下の佐久市域……………九

市域の敗戦処理／連合軍の進駐

と武器の押収／御真影・奉安殿

の撤去／忠魂碑・忠霊塔の撤去

／神饌幣帛料の禁止／特別高等

警察課の廃止

三 軍需工場をめぐる動き……………一五

GHQの賠償政策／市域の軍需

工場／賠償指定工場津上製作所

第二節 復員・引き揚げと人口の

変動……………一九

一 復員と引き揚げ……………一九

二 市域の復員状況……………二〇

三井村の復員状況／そのほかの

町村の復員

三 市域の引き揚げ状況……………三三

四 戦後の人口変動……………三三

戦時中の人口変動／終戦直後の

人口変動

第三節 食糧危機と供出・配給……………三七

一 食糧危機と緊急開拓……………三七

日本全体の食糧危機／緊急開拓

## 第二章 新しい政治の展開と佐久

### 第一節 新憲法のもとで……………三七

一 日本国憲法の施行……………三七

新憲法の施行を祝う／昭和二十

二年前後の諸改革

二 国民が直接参加する選挙……………四二

戦後初の総選挙／新憲法下の国

會議員選挙／地方自治体の選挙

三 地方自治法下の町村行政……………四六

地方自治法の制定／岩村田町の

政治／野沢町の政治／中込町の

政治

### 第二節 警察・司法機構等の改革……………五〇

一 自治体警察から佐久警察署へ……………五〇

自治体警察の誕生と廃止／佐久

警察署の発足と現状

二 司法機構等の改革……………五七

岩村田の裁判所／検察庁／法務局

第三節 地方税制の改革……………六一

一 シャウプ勧告……………六一

シャウプ調査団の来日／地方税

制改革案

二 地方税制の改正……………六二

地方税制改革の動き／勧告前後

の岩村田町予算

## 第三章 農地改革の実施と農村

### 社会の変化



第一節 農地改革法の成立……………	六九	農地委員会の選出……………	六八
一 農地改革前史……………	六九	二 農地委員会と農民組合……………	六八
二 農地改革法の成立と佐久地方 の地主的土地所有の変化……………	七一	桜井村農民組合の始動／桜井農 民組合の特色……………	
農地改革二法成立の経緯／改革 前後の土地所有の変化……………	七二	三 農地改革の進行……………	六九
第二節 農地委員会の構成と性格……………	七六	農地買収に先立つ動き／農地買 収の進捗……………	
一 農地委員の選出……………	七六	四 津上工場用地の買収問題……………	九五
農地委員選挙／農地委員の構成 ／小作委員の役割……………	七六	工場用地買収と第一次解放／第 二次解放……………	
二 農地委員会の補助体制……………	八〇	五 農地の買収・売渡し・交換分合……………	一〇〇
農地委員と地区／地区補助員／ 農地委員会書記……………	八〇	在村地主と不在地主／農地の売 渡し／農地の交換分合……………	
第三節 農地改革の実施過程……………	八四	六 改革による農家階層の変化……………	一〇五
一 農地委員会の審議……………	八四	農地売り渡しの結果／戦後自作 農の多様性……………	
動き出した農地委員会／桜井村			

## 第四章 東西対立の国際情勢と

### 佐久への影響

#### 第一節 労働運動の激化と二・一

ゼネスト……………二三

一 労働組合結成の動き……………二三

労働運動の概況／国鉄労組の結

成と争議／工場労働者の組合結

成／南北佐久教員組合の結成

二 二・一ゼネストをめぐる教組と市

域の動き……………二七

第二節 朝鮮戦争と佐久への影響……………二九

一 市域のレッドパージ……………二九

公職追放と追放解除／市域のレ

ッドパージ

二 市域の朝鮮特需……………三三

賠償工場の指定解除／朝鮮特需

と工業生産／朝鮮特需と養蚕

三 二つの反対運動……………三五

浅間山麓米軍演習地化反対運動

／八ヶ岳硫黄鉱害反対運動

第三節 日米安全保障条約の改定

と佐久市域の反対運動……………三三

一 講和条約と日米安全保障条約

の締結……………三三

両条約の締結と市域

二 日米安保条約の改定と市域の

安保闘争……………三三

第五章 新町村の成立と行政の展開

第一節 新町村成立への胎動……………三三

一 地方自治法の制定と町村財政……………三三



一 進まない町村合併の動き……………	一四
第二節 町村合併の進行、推進か	

ら法的規制へ……………一四三

一 町村合併促進法の施行……………一四三

町村合併の法的規制と財政援助

／新市町村建設促進法の施行

二 佐久の町村合併計画……………一四五

## 第二編 発展する佐久市

### 第六章 佐久市の成立と市政の展開

第一節 赤字財政を克服して……………一三三

一 難産だった佐久市の誕生……………一三三

二 町一村か三町一村か／紆余曲

折の佐久市誕生

### 第三節 町村合併の進展と町村政

の展開……………一四四

一 町村合併の進行……………一四四

野沢地域の動きと新町政／複雑

な浅間地区の動き／小さな合併

東村／比較的順調の新中込町／

佐久地方の町村合併

二 行政機構の整備……………一三七

仮庁舎での佐久市発足／市長・

市議会議員選挙／行政機構の概

要と改変

三 財政再建を成し遂げて……………一七三

財政再建の八年／佐久市建設計

画の概要と現実

第二節 内政の充実を期して……………二七

一 行政機構の整備と展開……………二七

市役所庁舎などの建築／自主財

源による市政／象徴・宣言・表

彰・友好都市等

二 総合計画策定までの市政の展開

……………二五

市営採石場と市道舗装／公共施

設の整備と産業の振興

第三節 二一世紀に向けた市政の

展開……………二六

一 第一次総合計画・同改訂計画

にそつた市政の展開……………二六

都市基盤と環境の整備／豊かな

産業の開発／社会福祉の充実と  
文化都市建設

二 第二次総合計画・同改訂計画

にそつた市政の展開……………三〇

交通・情報体系の構築／豊かな

経済圏の確立／公園都市の形成

／快適な住居空間の創出／創造

する文化の高揚／幸せ分かち合

う地域社会の形成／地方事務所

の統合

三 第三次総合計画・同改訂計画

にそつた市政の展開……………三六

人材育成と文化環境の充実／喜

び分かち合う健康都市形成／環

境変化に適應した産業の育成／

美しい都市環境の形成／魅力あ



る交流圏の創造

第四節 広域行政の時代……………三五

一 多岐にわたる地方自治体の組合・

企業団……………三五

一部事務組合の設立／制度化さ

れた広域連合

二 広域的地域開発の進行と挫折……………四六

浅間テクノポリス構想／千曲高

原リゾート構想

三 高まる「平成の大合併」気運……………四六

市町村合併の必要と筋書き／合

併に関する地域自治体の動き

第七章 躍進する工業・建設業

第一節 工業発展の軌跡……………二五

一 戦後の工業展開……………二五

終戦直後の工場の動き／賠償指

定とインフレ／新しい工業の芽

／朝鮮戦争と工業技術

二 高度経済成長の中で……………二六

平根の水力発電／神話「地方の

工業化」／工場誘致に奔走／伸

びる電子部品工業／大手工場の

誘致

三 大企業進出の中で……………二六

オイルショックと佐久の工場／

企業の横のつながり／農工導入

法と工場団地形成／進む系列化

と協同化

四 平成不況の中で……………二七

空洞化の進む中で／きびしい経

営環境の中で／期待される新し



い牽引車／浅間テクノポリス構  
想

五 工業集積の状況……………二七〇

県下五位の工業生産／広範囲に

広がる工場／多い部品メーカー

／年々上がる生産性／地元労働

力は六割／少ない若年労働力／

進む合理化

六 地域に根ざした工業……………二七六

地場産業としての食品工業／特

色ある工業

第二節 発展してきた建設業……………二八二

一 建設業の発展過程……………二八二

戦前の建設業／戦後の建設業は

災害復旧から／上水道工事と農

業用土工事／力をつけた地元企

業／団地造成と高層住宅／ほ場  
整備事業とパワーシャベル／低  
成長期の大規模工事

二 平成期の建設業の展開……………二八六

建設業の構成と公共投資／公共

事業などおもな事業／中込橋場

土地区画整理事業／ユニークな

小集落改良事業／スーパールン

道の開通／ハイウェイオアシス

「パラダ」／北陸新幹線の開通

建設業の生産体系……………二九三

三 建設業の生産体系……………二九三

第八章 近代化する商業・金融業

第一節 近代化を目指す商業……………二九七

一 太平洋戦争後の商業の復活……………二九七

二 近代的商店街建設への取り組み……………二九七

- 近代化の先駆岩村田商店街／花  
の大通り野沢十二町商店街／グ  
リーン・モール中込商店街
- 三 高速交通時代の到来と商圈の  
変貌……………三〇八
- 本格化した大型店の出店／出店  
ラッシュと大店法の制定／急増  
する郊外出店／佐久平駅周辺商  
店街の形成
- 四 激変する商業への対応……………三五
- 市政の対応／佐久商工会議所と  
商工振興／再び活性化に挑む商  
店街
- 第二節 大衆化する金融業……………三〇
- 一 太平洋戦争後の混乱……………三〇
- インフレの進行／預金封鎖と新
- 円切り替え／傾斜生産とインフ  
レ再現／ドッジラインとインフ  
レ収束／戦後混乱期の佐久地方  
の金融
- 二 金融機関の整備……………三三
- 金融機関の増設と転換／地域金  
融機関の沿革と動向
- 三 高度成長期の金融……………三五
- 経済成長を支えた貯蓄／預金増  
強活動の各種対策／産業構造の  
変化／金融機関の貸し出し増加
- 四 低成長経済への転換……………三七
- 変動相場制への移行／石油危機  
と狂乱物価／低成長経済への転  
換



五 低迷を続ける経済状況と金融業

..... 三九

市域商工業の景気動向／金融業

の動向

第九章 地域性を生かした農・林・水

産業

第一節 模索する農業..... 三七

一 内陸性気候を生かした佐久平

の農業..... 三七

寡雨・日較差大の佐久平の農業

／南北で異なった土壌／恵まれ

た水利

二 佐久市農業の概観..... 四〇

低い耕地率で高い水田率／稲作

を支える畜産や畑作

三 卓越した稲作と近代化の歩み..... 四三

高い反当收穫量／成育期を早め

た保温折衷苗代／牛馬耕から機

械耕うんへ／食糧増産を目指し

た用水路改修／機械化を早めた

基盤整備の進行／減反政策とそ

の影響

四 畑作の推移..... 六一

養蚕・薬用人参栽培の衰退／定

着・安定した花卉栽培／戦前か

ら続くりんご・もも栽培／漬物

野菜から高原野菜栽培へ

五 戦後の開拓..... 四四

開拓の開始／東山の開拓／西山

の開拓

六 農業協同組合事業の展開..... 六一

農業協同組合初期の動向／農村の近代化と農協／高度経済成長期の農協／相次ぐ農協の合併	一	変貌する林業……………	四〇四
第二節 特色ある畜産業……………	三五三	山林の荒廃と治山対策／財産区の推移と実態／森林組合の創設と活動／造林事業の進展と展望	四〇四
一 畜産業の復興と衰退……………	三五三	二 水産業の変容……………	四二二
乳用牛と役肉用牛の動向／養豚の拡大と特産佐久山羊／兎と鶏とみつ蜂／軍馬から農耕馬へ	三五三	稲田養鯉頓挫から復活へ／池中養鯉への転換／佐久の水産振興と県水産試験場／河川漁業と漁業協同組合	四二二
二 畜産業の現代化……………	三五六	第一〇章 交通・運輸の発展	
畜産の規模拡大／畜産の質的転換	三五六	第一節 進む道路網の整備……………	四七
三 畜産施設とその活動……………	四〇〇	一 佐久市を中心にした交通体系……………	四七
家畜改良センター長野牧場／佐久家畜保健衛生所／佐久広域食肉流通センター	四〇〇	二 復旧工事と街路の改修……………	四九
第三節 変貌する林業・水産業……………	四〇四	復旧工事と再開された舗装工事	四九



- ／進む街路の新設と改修整備
- 三 道路の近代化……………四三
- 主要市街を結ぶ路線の新設／周  
    辺へ伸びる道路の新設と改良
- 第二節 自動車交通の発展……………四六
- 一 バス交通とその変遷……………四六
- バス交通の復活と路線の拡大／  
    利用客減少による経営の再建
- 二 自家用車の激増と宅配便の台頭……………四三
- 一世帯二台を超える自家用車／  
    運送業界の新人「宅配便」／競  
    争が激しいトラック輸送業界
- 第三節 小海線の変遷……………四五
- 一 通勤通学の足、小海線……………四五
- 蒸気機関車とディーゼルカー／
- マイカー普及で一層の合理化へ
- 二 新しいJR小海線……………四五
- 新型の気動車でイメージアップ
- 第四節 高速交通時代……………四五
- 一 上信越自動車道の開通……………四五
- 進む上信越自動車道の建設／開  
    通した佐久IC周辺の変貌
- 二 北陸新幹線の開業……………四六
- 北陸新幹線のルート決まる／新  
    幹線の工事と新駅周辺の整備／  
    待望の新幹線開業
- 三 中部横断自動車道の着工……………四七
- 中部横断自動車道の夢、実現へ
- 四 交通網の改変による
- 地域の変容……………四七
- 高速交通時代で変容した地域

第一章 生活を変える通信・情報

第一節 新時代に対応する郵便事業

..... 四六三

一 郵便事業の変化とサービスの

向上..... 四六三

時代とともに変わる郵便事業／

企業的努力で事業を拡大

二 佐久郵便局の新設..... 四六六

三つの集配区があった市域／佐

久郵便局の誕生

第二節 電話の普及と新しい電話会社

..... 四九一

一 電話の普及と自動化..... 四九一

佐久市域における電話の普及／

有線放送と農村集団電話

二 電話の民営化と新しい電話会

社の参入..... 四九五

通信システムの変化／通信手段

の変化／通信料金の低減

第三節 新聞・ラジオ・テレビジョン

の普及..... 五〇一

一 新聞の購読と地域新聞・広報など

の発行..... 五〇一

信濃毎日新聞と中央紙の購読／

佐久における地域新聞の動き／

戦後の町村広報紙や公民館報

二 ラジオ聴取の変容とテレビの

普及..... 五〇六

ラジオの普及と民間放送の開局

／生活必需品になったテレビ／



地域情報発信のFMさくいだいら  
第四節 ニューメディアの普及と  
市民生活……………五三

一 行政におけるコンピュータ……………五三

市役所における事務電算化／高  
度情報化への動き

二 学校におけるコンピュータ……………五八

小・中・高における情報化教育  
／情報化推進役育成の短大／専  
門学校での情報技術者の養成

三 医療におけるコンピュータ……………五四

病院における電算処理／遠隔医  
療の推進

四 企業におけるコンピュータ……………五六

鉄道関係のコンピュータ化／金  
融機関でのコンピュータ利用／

生産・販売のコンピュータ利用

五 家庭におけるコンピュータ……………五三

第二二章 自然や史跡を生かす観光

・サービスマ

第一節 通年利用を目指す観光産業

……………五七

一 自然的資源を生かした観光……………五七

県と市開発公社の観光開発／菅  
平方式で開発された東山／県企  
業局が再開した西山の開発／明  
暗を分けた西山の別荘地分譲／  
地域で盛り上げるコスモス街道

二 高速交通時代を迎えての観光……………五四

上信越自動車道に直結した公園  
／浅間を背景に大空駆ける熱気  
球

## 三 新旧の祭りや文化財を生かし

た観光……………五四九

にぎわう初午や夏祭り／定着し

た佐久鯉まつり／観光の核とな

る史跡

## 四 観光客の動向と観光開発の課題

……………五五〇

観光の今後を示唆する客の動向

／滞在型・参加型観光への脱皮

## 第二節 サービス業の動向……………五六〇

戦後の娯楽は映画館から／成長

を続けるサービス産業

## 第一三章 佐久市の人口と集落

## 第一節 佐久市の人口の静態……………五六九

一 人口・世帯数および性別構成……………五六九

市制施行前の人口現象／ドーナ

ツ化の人口分布

二 年齢別人口構成……………五七〇

健全型から不健全型へ／全人口

の五分の一が老年人口

三 市民の就業部門……………五七一

就業の半数は製造・サービス業

## 第二節 佐久市の人口の動態……………五七二

一 市制施行後の増加……………五七二

四〇年間で一万人増えた人口

二 加速する核家族化……………五七四

三人を下回る家族人数／親族世

帯の七〇割は核家族

三 出生と死亡の傾向……………五七六

減少傾向を示す自然増加／一人

の女子が生む子は一・七人



四 転出入による人口増減……………五九

五十年代半ばから社会的増加へ

／年々増え続ける外国人

五 婚姻と離婚の傾向……………五二

全県より高くなってきた婚姻率

／増加する離婚

第三節 変化する佐久市の集落……………五五

一 農業機能の衰退……………五五

現在農家率が高い岸野と志賀

二 商店街の性格と変貌……………五九

佐久市内旧商店街の性格／旧商

店街の変貌／上信越道開通で誕

生した商店街／佐久平駅開業に

よる新商業集積

三 住宅団地の出現……………六〇

急増した公営住宅と宅地造成

四 農村集落景観の移り変わり……………六四

新旧の道路沿い

五 地域共同体の結びつき……………六四

伝統的な風習が残る志賀地区／

「隣に住む人が縁者」の橋場／純

農村から交通商業の中心地へ／

若い世代が多い新興の弥生が丘

第四章 厚生・福祉・防災の充実

第一節 保健・医療の進歩……………六五

一 地域医療の発展……………六五

国民健康保険制度の充実／国保

浅間総合病院／親しまれた地域

診療所

二 治療から予防へ……………六三

佐久保健所の開所と活動／医師

三	会の活動／齒科医師会の活動／保健予防事業の推進	三〇
三	高齢化問題と介護保険制度	三〇
一	進む高齢化社会／老人保健制度と老人保健施設／介護保険制度の始まり／介護保険料の負担と使途	三六
二	社会福祉への移行	三六
一	社会福祉の進展と充実	三六
一	低所得者福祉からみる社会変化／保育制度の進展と充実／知的障害者対策／高齢者福祉対策／社会福祉協議会の活動	四六
二	年金と保険の充実	四六
三	公的年金制度の進展／国民年金の現状と市政の対応／医療を支	五五
二	雇用の安定と勤労者福祉	五九
一	景気の変動と雇用対策の動向／雇用促進行政の現状／勤労者福祉対策の進展と現状	六五
二	災害と安全対策	六九
一	多発した自然災害	六九
二	戦後の自然災害／たび重なる降雹被害／防災ダムの建設	七五
三	激増する交通事故	七五
一	交通事故の様相／交通事故防止への取り組み／交通安全施設整備	七九
二	消防と救急の活動	七九
三	火災の増加と佐久消防署の発足	八五



／急増する救急活動／消防団と

防火活動

四 安全な市民生活を目指して……………六四

防災対策の現状と課題／消防・

救急の現状

## 第一五章 社会の変容と家庭生活の

### 変化

第一節 新憲法と家庭・地域社会

の変化……………六九

一 「家」の変容……………六九

核家族化

二 「物」の豊かさを求めて……………六九

衣生活の変化／食生活の変化／

住生活の変化／公営住宅と住宅

団地

三 地域社会の変容……………六九

共同体的結合から経済的社会へ

／改善結婚式から華美の結婚式

へ／様変わりする葬儀

第二節 男女共同参画社会と国際

化の進行……………七四

一 婦人参政権と公職への進出……………七四

婦人参政権の実現／公職への進

出

二 婦人団体の結成と活動……………七六

最初に動き出した婦人会／生活

改善運動と奉仕活動／婦人会が

ら婦団連へ／婦団連の活動

三 男女共同参画社会を目指して……………七六

四 国際化の進行……………七八

ナトコ映画と民主化・国際化／  
東京オリンピックと国際交流／  
日伯親善交流と日中友好親善／  
在住外国人支援すずらんの会／  
広がる国際化の諸事業

### 第三節 上・下水道の普及とごみ

処理……………七七

一 井戸水や河川の汚染……………七七

戦中から戦後にかけての飲用水

／地下水などの汚染／進む河川

汚濁

二 簡易水道から上水道へ……………七三

簡易水道の普及／佐久市・御代

田町水道組合／佐久水道企業団

三 し尿と家庭雑排水の処理……………七四

佐久平環境衛生センター／伸び

る公共下水道／全戸水洗化を目  
指して

四 放置できないごみ処理問題……………七六

ごみ問題の発生／ごみ処理施設  
の整備／進むごみの分別収集

## 第一六章 社会運動・社会問題の

様相

第一節 佐久地区評の活動と

農民運動……………七五

一 佐久地区評の結成とその活動……………七五

地区労の結成と敗戦直後の動き

／旧々佐久地区評の結成と活動

／旧佐久地区評から統合地区評

へ

二 農民組合の結成とその活動……………七六



戦後新たな農民組合の結成／農

民組合の安保闘争／佐久酪農組

合の乳価闘争／その後の農民組

合

## 第二節 部落解放運動と同和行政……………七六

一 戦後の部落解放運動……………七六

部落解放運動の再出発／大衆運

動としての解放運動／運動の組

織化と強化／佐久市協議会の結

成と活動

二 同和行政の進展……………七九

県の同和行政と同対審査申／佐

久市同和行政の展開／集会所・

隣保館の設置／小集落地区改良

事業／解放子ども会の誕生と活

動

三 総合的な施策の推進……………七六

総合計画の推進／同対策事業

の新しい展開

## 第三節 公害の発生と自然保護……………七六

一 社会環境の変化と公害……………七六

高度経済成長と環境問題の変化

／いろいろな公害の発生

二 自然保護対策……………七四

各種開発と自然破壊

三 自然保護運動の取り組み……………七五

環境保全と市民の対応／環境保

全と森林保護

## 第十七章 学校教育の進展

第一節 六・三制教育の展開……………七一

一 皇国主義教育との決別……………七一

- 敗戦直後の学校／軍国主義教育の排除
- 一一 教育改革と関係法規の整備……………七五
- 教育基本法と学校教育法の制定  
／すべての国民に中学校教育を  
／支援組織としてのPTA
- 第二節 義務教育の再編成と展開……………八〇
- 一 揺れ動く教育体制……………八〇
- 教組の結成とレッドパージ／なじまなかつた欧米の習慣
- 二 新しい教育計画の導入……………八〇
- 注目を集めた岩村田プラン／子ども中心の授業研究の継承
- 第三節 教育の発展と多様化……………八〇
- 一 同和教育・特殊教育の広がり……………八〇
- 差別に負けない子を目指して／
- 障害者に光を
- 一一 学校行事の多様化……………八二
- 大きく変わった学校行事／日本海から首都圏への修学旅行
- 三 学校事故とその防止……………八四
- 絶えない学校事故／学校事故の防止
- 四 小中学校の統廃合と施設の充実……………八七
- 町村合併後の学校統廃合／僻地を支えた分校・冬期分室／新しい教育に應える校舎／自校給食からセンター給食へ
- 第四節 最近の学校教育の動向……………八七
- 一 揺れる学校とその対応……………八七
- 先進的な試み、教育相談員制度



／通学区制の弾力的運用

一一 二一世紀の教育を築く……………八三〇

新学習指導要領「生きる力」／

学社連携から学社融合へ

## 第五節 県立新制高等学校の発足

と変遷……………八三五

一 新制高等学校の発足と展開……………八三五

六・三・三制の発足／高等学校

網と各課程／高校進学者増と教

育課程の改編／通学区制と入学

者選抜問題

二 市内県立高等学校の推移……………八四二

北佐久農業高等学校／野沢北高

等学校／野沢南高等学校／岩村

田高等学校

## 第六節 私立高等学校・短期大学

の設立と変遷……………八五三

一 私立高等学校の誕生と展開……………八五三

佐久高等学校／中・高一貫教育

始まる

二 信州短期大学の設立と展開……………八五五

地域に根ざした大学を目指して

／情報化社会に対応して

## 第七節 時代の要請を担う技術専

門校や専修学校……………八六一

一 職業能力の開発を担う訓練施設

……………八六一

長野県佐久技術専門校／佐久高

等職業訓練校

## 二 時代の要請に即応した専修学校

八六五

白田経理専門学校／アースビジ

ネスカレッジ

## 第一八章 社会教育から生涯学習へ

## 第一節 公民館の発足と展開……………八七一

## 一 町村公民館の設置と運営……………八七二

敗戦と公民館の発足／初期の講

座や行事／生活改善運動から新

生活運動へ／ナトコ映画と視聴

覚教育／町村合併の進行と公民

館

## 二 社会の変化と公民館……………八八二

地域の変貌と公民館の活動／生

涯学習の拠点としての公民館

## 第二節 社会教育と青少年健全育成

八七

## 一 青少年問題の発生とその対応……………八七

児童福祉法の制定と健全育成／

児童相談所の設置／スポーツ少

年団結成と健全育成

## 二 青少年補導センターの設置と

健全育成……………八九一

育成推進員と補導委員制度／地

区育成会の結成と育成活動／補

導活動と地域環境の浄化

## 三 地域社会の教育力の回復を目

指して……………八九五

学童保育と児童館の開設／生涯

学習時代の青少年育成事業



## 第三節 地域ぐるみの同和教育の

推進……………九〇

一 社会同和教育の展開……………九〇

二 佐久市の同和教育……………九一

同和教育基本方針／同和教育の

推進体制／同和教育指導者養成

講座／同和教育講座と巡回指導

事業／企業同和教育／部落解放

都市宣言／PTAなど諸団体と

の連携

三 社会同和教育の現状と課題……………九二

第四節 生涯学習社会への移行……………九二

一 生涯学習の始まりと基本構想……………九二

生涯学習の起こりと広がり／生

涯学習基本構想の策定

二 佐久市における生涯学習の展

開……………九三

学校開放講座と開かれた学校／

生涯学習出前まちづくり講座

三 地域における生涯学習の展開……………九七

内山地区のコスモス祭り／ほた

るの里志賀の取り組み

四 生涯学習ボランティアと社会

貢献団体の活動……………九〇

佐久青年会議所の活動／佐久ラ

イオンズクラブの活動／佐久R

Cと佐久コスモスRC

五 生涯学習センターの開設と統

合の理念……………九三

## 第一章 盛んな文化・芸術活動

## 第一節 文学活動と文化施設……………九七

## 一 第二次大戦後の文学活動……………九七

疎開文学者とその動静／相次ぐ

受賞作家の輩出

## 二 文化施設の整備と市民の利用……………九三

市立図書館／資料館／長野県佐

久創造館／長野県佐久勤労者福

祉センター

## 三 佐久文化賞の創設……………九三

佐久文化会議と佐久文化賞

## 第二節 地域研究の進展……………九七

## 一 新編『北佐久郡志』の刊行……………九七

郷土研究の復活と一次「佐久」

／『信州岩村田町』／『北佐久

郡志』の刊行

## 二 活発な市町村誌の編さん……………九四

市域の町村誌／佐久市志の編さん

とその構成

## 第三節 文化財の調査と保護……………九四

## 一 主要文化財とその保護……………九四

文化財保護の高まり／豊かな文

化財と文化財保護審議会／文化

財保護の現状と課題

## 二 埋蔵文化財の発掘と課題……………九五

連続する緊急発掘／埋蔵文化財

の発掘に関する諸問題

## 第四節 文学の普及……………九三

## 一 短歌・俳句グループの活動……………九三

短歌グループの活動／俳句グル

ープの活動／市民短詩型文化祭



と公民館活動

二 文学研究と文学雑誌……………九六

戦争直後の動き／島崎藤村や佐

藤春夫の影響／さまざまな研究

誌／二つの文学誌

第五節 多彩な美術活動……………九四

一 戦後の佐久の美術……………九四

疎開作家と長野県美術展覧会

二 佐久市および佐久地域の作家

たち……………九七

日本画の作家／洋画・版画・彫

刻の作家／陶芸・書の作家／佐

久平の美術展覧賞・市長賞

三 市立近代美術館の建設……………九二

美術館の開設と油井一二／美術

館収蔵資料の概要

第六節 音楽活動の進展……………九五

一 音楽活動の芽生えと発展……………九五

市民合唱団の設立と広がり／演

奏活動の現状と音楽祭

二 音楽文化の向上を目指して……………九二

ヤングソサエティ佐久支部／レ

コードコンサート／音楽文化協

会の活動／佐久労音の活動／教

育関係団体の活動

第七節 スポーツ活動の復活と盛行

……………九五

一 運動会・体育祭・陸上競技会

の復活……………九五

村を挙げての運動会・体育祭／

青年団活動と運動競技

## 二 野球・ソフトボール・サッカー

そしてバレーボール……………九九

野球とソフトボール／青年団バ

レー・ママさんバレー

## 三 柔道・剣道・弓道の

復活と盛行……………一〇三

柔道の復活とやまびこ国体／

剣・弓道の復活

## 四 冬期スポーツの隆盛とオリン

ピック選手……………一〇七

スケートの隆盛とオリンピック

／スキートの隆盛と二つの同好会

## 五 ニューススポーツの動向と友好

都市交流……………一〇七

GボールからM・Gゴルフへ／

友好都市とのスポーツ交流

## 終章 二二世紀の佐久市

一 立地条件としての自然……………一〇五

佐久市の位置

二 佐久はひとつ……………一〇七

佐久郡の成立／佐久八郷／佐久

の古道／官牧望月牧／武士の発

生と佐久／「いざ鎌倉」から戦

国へ／徳川幕藩体制と中山道／

長野県の誕生と町村合併／高速

交通時代への道程

三 若々しい都市 佐久の現在……………一〇七

若々しい都市

四 その光と影……………一〇三

交通の焦点／衛生都市化／保健

休養都市へ／利益共同体化への

危惧



佐久市志関係者名簿……………	一〇三五	佐久市志刊行会事務局……………	一〇三九
佐久市志刊行会……………	一〇三六	佐久市教育委員会事務局……………	一〇四〇
佐久市志刊行会運営委員会……………	一〇三六	歴史編(五)現代史料提供者名簿……………	一〇四〇
佐久市志監修者名簿……………	一〇三七	編集後記 編さん委員長 木内 寛……………	一〇四五
歴史編(五)現代関係者名簿……………	一〇三七		